



ほけんだより

七重浜こども園 R4.12.5



早いもので、今年も後1ヶ月となりました。年末年始は外出や来客なども多く、生活リズムが崩れがちになります。また、感染症の流行時期です。体調管理には十分気を配っていきましょう。



感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。吐き気が治まるまで、様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。乳児の場合、母乳はそのままあげても構いません。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、予防につながります。

嘔吐物の処理方法

嘔吐物は、二次感染を防ぐために速やかな処理が必要です。まずは窓を開けて換気を行い、ゴム手袋やマスクで体を覆って嘔吐物に直接触れないようにしましょう。

用意する物

- ・使い捨て手袋・使い捨てマスク・バケツ・雑巾・ビニール袋・消毒液(塩素系漂白剤やミルトン、キッチンハイター等)

手順

- ① 手袋をして捨ててもよい布や紙で拭き取ります。
- ② 拭き取った物はビニール袋へ入れて、外へ捨てます。
- ③ 汚れた床は、消毒液(漂白剤)などを薄めてふきます。
- ④ 処理の後は十分な換気を行きましょう。
- ⑤ 最後は必ずしっかり手洗いをしましょう。



年末年始の急病は？
年末年始はほとんどの病院が休診となります。
お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。
また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。



11月感染症状況
胃腸炎 2名
ヒトメタニューモウイルス 3名